

ついに

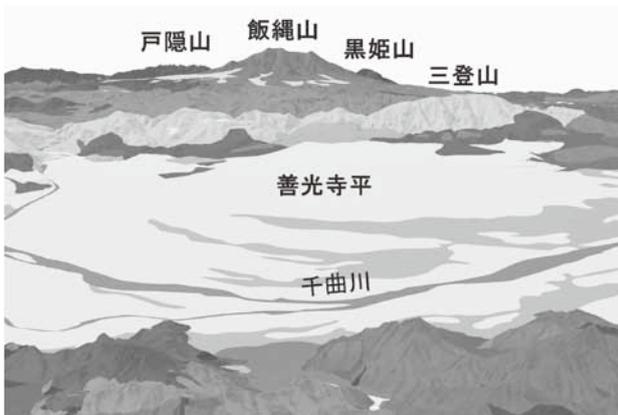
「長野県デジタル地質図 2015」が出来ました!!

自然環境部 富樫 均 (元 新版長野県地質図作成委員会 幹事長)

地表の表土の下には地質（土や岩石）があります。地質分布を種類別に分けて、地形図上に表現した図が地質図です。地質図は、地質の三次元分布と自然の歴史からなる四次元情報の集大成です。山や丘陵や盆地などの成り立ちを理解する上で地質図は大切な情報であり、自然環境をあらわす基本図のひとつです。

長野県では、1957年に長野県地学会によって縮尺20万分の1の「長野県地質図」が編纂されました。県レベルの地質図作成は、当時においてきわめて先進的な取り組みでしたが、残念なことにその後半世紀以上にわたり大きな改訂がなされず、今では近隣の県の地質図と比較しても記載内容がすっかり古くなってしまい、県内の地質研究者の間では、新しい地質図の完成が悲願になっていました。

このほど信州大学と国立長野高専と環境保全研究所の研究者らからなる長野県地質図活用普及事業研究会（以下研究会：代表 原山 智 信州大学教授）



善光寺平周辺の立体地質図表示例

により、ついに新しい県デジタル地質図2015が完成しました。長野県全域の詳細な地質が5万分の1の縮尺で統一的にとりまとめられた画期的な地質図です。1980年代以降の地球科学上の新知見が盛り込まれた

とともに、情報がデジタル化され、他の地理情報に地質情報を重ねたり、鳥瞰図として地質を立体的に見たりすることができるなど、多くの利点があります。様々な自然災害リスクを抱える長野県にとって、地質図は県土の大切な基本情報です。これからの防災や減災、あるいは自然環境の保全、観光や教育など様々



地質図活用説明会の様子（県内4会場で開催）

な分野で詳細な地質情報が暮らしに活用されることを期待しています。

地質図作成事業は、かつて長野県の主要事業として取り組まれた経緯があります。しかし完成前に予算が打ち切れ、その後は県内研究者有志によって編集作業と資金確保の努力が続けられてきました。そしてこのほど、一般社団法人 北陸地域づくり協会による研究助成をいただき、着手から約10年の時を経てついに完成させることができました。この間には、40名を超える各地の研究者の方々や、関連機関の方々にご協力やご支援をいただきました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

長野県デジタル地質図と研究会へお問い合わせは、研究所の富樫までお願いします。

E-mail : togashi-hitoshi@pref.nagano.lg.jp